

## 安曇野市豊科郷土博物館



安曇野の祭りを絵地図で楽しむ

今から50年前の安曇野を舞台に、家でしていた祭り・オフネ祭り・道祖神祭りなど、いろいろな祭りが見られます。西日本と東日本の文化の十字路でもある安曇野の人々が作り上げてきた、長い歴史の上に成り立った深く多様な文化を見に来てください。

## 安曇野市穂高陶芸会館

昭和58年の開館以降、中信地方で江戸時代より使われた古い民芸陶器の信斎焼など約70点を展示し、土が器になる感動を味わえる陶芸体験ができます。陶芸を「見て、作って、使う」ことができる施設です。



信斎焼 家紋入緑釉大火鉢

## 安曇野市穂高郷土資料館



広耳付壺形土器

安曇野の西と東から発掘された縄文土器を比べてみるコーナー展示が充実。農具や漁具、養蚕資料など、明治から昭和40年ごろまでに使われていた民具を展示しています。また、松尾寺山公園内に建つ「鐘の鳴る丘集会所」の資料も見いただけます。

## 貞享義民記念館



今から330年以上昔の江戸時代に松本藩領内で起きた大規模な百姓一揆(貞享騒動あるいは加助騒動と呼ばれます)を顕彰して建てられました。館内では「貞享義民物語」の上映と、騒動に関わる資料を展示しています。

## 臼井吉見文学館



臼井 吉見(1905-1987)

安曇野の名を世に広めた歴史長編小説「安曇野」の作者、臼井吉見の生原稿や写真等の資料を展示しています。また、執筆にあたった書斎も館内に再現しており、臼井の足跡が肌で感じられます。

## 安曇野高橋節郎記念美術館



〈満天星花〉高橋節郎 1973年

高橋節郎は穂高出身。漆を使って新しい芸術を作り出しました。小さいころの思い出や自然は不思議な形となって、幻想あふれる世界に広がります。中庭にある節郎の生家と庭園もお楽しみください。

## 飯沼飛行士記念館



神風号と飯沼飛行士(1912-1941)塚越機関士(1900-1943)

昭和12年、豊科出身の飯沼正明飛行士が、塚越賢爾機関士とともに東京-ロンドン間を94時間17分56秒で飛行し世界記録を樹立した偉業を讃え、生家の敷地内に記念館が設立されました。当時の写真や新聞のパネル、飯沼飛行士の遺品などを展示しています。

## 田淵行男記念館



〈ヒメギフチョウ♀〉田淵行男 1949年

安曇野や北アルプスを愛した田淵行男が撮影した写真や、蝶の細密画、愛用の品々を中心に展示しています。また、全国的な知名度を誇る写真家の企画展等も開催しています。

## 安曇野市豊科近代美術館



〈海〉高田博厚 1962年

近代の彫刻家高田博厚の作品と、森鷗外ゆかりの画家宮芳平の作品、安曇野の作家の作品を常設展示し年に数回、企画展を開催しています。庭園では500種類のバラが楽しめます。

## ★2018.4~2019.3 注目の展覧会

### 安曇野市豊科郷土博物館

夏季企画展

「安曇野 人の一生Ⅲ どうする?葬式」

6月30日(土)~8月26日(日)

安曇野ではどうやって死者をあの世へ送っていたのでしょうか。昔のお葬式ってどんなことが必要だったのでしょうか。安曇野にあったあの世ってどこなのか?そして、これからのお葬式はどうなっていくのか、展示を見ながら一緒に考えましょう。



昭和初めごろの葬列(三郷)

秋季企画展明治維新150年記念

「絵地図で見る安曇野の明治維新」

9月8日(土)~10月28日(日)

現在の安曇野市のもととなる村むらだが、今から150年前にできあがります。その時に、それぞれの村が長野県に提出した、当時の姿が描かれた地図を展示します。現在の姿と比べてみると、大きく変貌した様子がわかります。

春季企画展

「安曇野の屋敷林とその暮らし」

2019年2月9日(土)~3月31日(日)

北アルプスや稲穂の美る田んぼとともに、美しい安曇野の風景を作り出している屋敷林。安曇野の人々は、屋敷林を暮らしのなかでどのように利用していたのでしょうか。そして、現在の私たちの暮らしに受け継がれている屋敷林の価値を見つけていきます。屋敷林の魅力をぜひ見に来てください。

### 安曇野高橋節郎記念美術館

小口正二と高橋節郎展

「うるしのいろといろ」

7月7日(土)~9月9日(日)

たくさん色を使った華やかな作品の小口正二と、黒と金を使った幻想的な作品の高橋節郎。同じ時代、長野県に生まれた2人は、漆を使った芸術家です。2人の作品を見くらべてみると、同じところと違うところ、たくさん発見があります。君の知らない漆の世界が待っています!



〈夏の語らい〉小口正二 1982年

第7回

「そば猪口アート公募展」

10月2日(火)~11月4日(日)

ざるそばを食べる時に使う器「そば猪口」に注目してみよう。展覧会では、全国から手作りのそば猪口が大集合。おなじみ地道なのに、かわいいもの、かっこいいもの、作家の個性があふれています。どうやって作ったんだろう?たくさんの中から、使ってみたいそば猪口を探してみよう!



昨年のようす

### 安曇野市豊科近代美術館

春の特別展

「郷津雅夫展」

4月28日(土)~6月3日(日)

白馬村出身のアーティスト郷津雅夫さんの展覧会を開催します。郷津さんはニューヨークに渡り、窓をテーマにした写真を多く撮影してきました。今回は窓にちなんだ様々な写真と、本物の窓をもとに作られた立体作品を展示します。



作品展示のようす

### 田淵行男記念館

田淵行男写真展

「わが山旅」

5月29日(火)~9月30日(日)

田淵行男は日本を代表する山岳写真家で昆虫の生態研究者です。子どもの頃から山や川で遊ぶことが好きだった田淵は、大人になって学校の先生になりました。生徒たちを連れて山に登り、写真を撮っていましたが、40代半ばでプロの写真家としてデビューしました。今回は、2作目の写真集「わが山旅」から、季節ごとの山々の風景をご紹介します。



〈暮れゆく剣〉田淵行男 1941年

水谷章人写真展

「信濃路」

4月24日(火)~7月16日(月・祝)

飯田市出身の水谷章人さんは、最初は山岳写真を撮っていましたが、現在はスポーツ写真家として活躍しています。今回は、日本スポーツプレス協会会長でもある水谷さんがとらえたふるさと信州の風景をご紹介します。



〈乗鞍 量平からの光彩〉水谷章人

安曇野市中学高校美術部展

「10周年記念展」

2019年2月5日(火)~2月24日(日)

今年で中高美術部展は10周年を迎えます。市内の美術部生徒の皆さんの作品や全員で作りに上げる合同作品を展示します。1年間の美術部活動の成果をどうぞご覧ください。



昨年のようす